

「ダイバーシティ時代のハラスメント防止研修会」開催のご案内

前回の「ハラスメント防止研修会」には、多くの会員企業の皆様にご参加頂き、好評を博しました。

しかしながら、様々な社員（シニアを始め、性的マイノリティや障害者、外国人、また派遣社員やパート・アルバイトなど）が働く令和の職場では、以前は問題視されなかったことも、ハラスメントと認定されることもあります。ハラスメントに関する法律や世間の価値観は、常に変化していると考え、最新化を図る必要があります。

今回は、パワハラ、セクハラ、マタニティハラスメント（マタハラ）に加え、外国人差別、LGBTへのセクハラなどを学ぶことで、**ダイバーシティ時代（多様性の時代）のハラスメント対策**としました。

経営幹部、人事総務のご担当者のみならず、ビジネスパーソンとして成長を期待される皆様、貴重なこの機会をお見逃しなく、ご参加お待ちしております。

本研修会の特徴

①豊富な具体的事例で分かり易い

豊富な事例を紹介、ケーススタディを多用することによって、問題の所存とその対処法がイメージしやすい内容となっています。

②チェックシートで自身を診断

セクハラ・パワハラともに、自身のハラスメント危険度が診断できるチェックシートを研修中に活用します。他人事ではなく、自分自身の問題として認識することにより、学習効果が高まります。

③経験豊富な講師陣

講師派遣型研修で実績の豊富な(株)インソースの講師は、自身が管理職としての経験があり、また、多くの事例を知るエキスパートとの高評価を得ています。

講師プロフィール

やなぎさわ えみ
柳澤恵美氏



証券会社役員秘書に従事し、秘書業務全般の基本を習得後、主要航空会社3社での客室乗務員の業務を通じ、ダイバーシティ時代のコミュニケーションやマナーを実践的に学ぶ。

その後、インソースの講師に就任、総登壇回数は581回。研修会の内容、講師として評価ともに高評価を得ている。

<講師からのコメント>

客室乗務員の経験を活かし、研修においても「人の心を動かすこと」を心がけ、実践型研修を目指します。受講者の皆様のモチベーションを上げることで、楽しみながら、研修にご参加いただける環境づくりを大切にしております。

日時：2019年11月26日（火）13：30～16：30（受付開始13：00）

会場：東実健保会館 5F第1会議室（中央区東日本橋3-10-4・都営新宿線「馬喰横山駅」A1出口徒歩1分）

定員：先着30名 ※満席の場合はご連絡します（ホームページでもご確認いただけます）

申込：裏面の参加申込書に必要事項をご記入のうえFAXしてください。

カリキュラム

1. はじめに
 - 【ワーク】 様々なケースを読み、職場での振る舞いとして適切か否かをチェックする
～ハラスメントのリスクがある言動にアンテナを立てる
2. 多様な人が共に生きる時代を考える
 - (1) 人材が多様化している ～様々な人の立場で考える必要がある
 - (2) ダイバーシティの目指すものとは ～誰もが活躍できる社会・組織づくり
 - (3) 組織のダイバーシティ推進のメリットの一例 (4) 組織のダイバーシティ推進に潜むリスク
 - 【参考】 様々な人材を知る
 - (1) 多様化する「女性」 (2) 多様化する「男性」 (3) L G B T (X Q) (4) 様々な年代の人材
 - (5) 異文化出身者 (6) 障がいのある人材
3. ハラスメントとは
 - (1) ハラスメントとは
 - ① パワハラ ② セクハラ ～性役割のおしつけもセクハラ、L G B T をとりまくセクハラ
 - ③ アルハラ ④ モラハラ ⑤ アカハラ ⑥ マタハラ ⑦ 人種差別 ⑧ 宗教軽視 ⑨ 障がい者差別
 - (2) ハラスメントがもたらす様々な悪影響
 - 【ワーク】 組織内でハラスメントが発覚した際の悪影響を「被害者」「加害者」「組織」の立場で考える
 - (3) ハラスメントの判断基準
 - ① 客観性と主観性の双方で判断する ② 時代によって変化する
4. ハラスメントを招かないために
 - (1) 誰もがハラスメントをする可能性があることを認識する (2) まずは指摘を受ける姿勢を示す
 - 【ワーク】 自分の癖チェック
 - (3) 指摘された際には反論せず受け止め、受け入れる (4) 同じハラスメントを繰り返さない
5. ハラスメントを見かけたら ～悪化させないために
 - (1) 見て見ぬふりをしない (2) 指摘しにくいことでも勇気と厳しさを持って注意する
 - 【ワーク】 ケースにおいて、どのように指摘するか考える
 - ① 飲み会での男性部長の女性新人へのセクハラ・アルハラについて
 - ② 男性独身社員への同性愛を疑うセクハラについて ③ 課長のパワハラについて ④ 職場内の人種差別発言について
 - (3) 「アライ」を見つける ～一人で抱え込まず相談できる人を探す
 - (4) 迷った際には相談窓口へ相談する
 - 【ワーク】 自組織の相談窓口を明確にする
6. まとめ

11/26 参加申込書

※申込み方法

- ① 下記に必要事項をご記入のうえ、F A X 03-5652-1880 に送信してください
- ② 先着 30 名様に「受講票」を郵送致します（満席の場合はご連絡します）
- ③ 不明な点やお電話での申し込みは 03-5652-8030 までお気軽にお電話下さい

会社名		T E L	
会社 ご住所	〒 ー	F A X	
参加者 氏 名		部 署 役 職	
参加者 氏 名		部 署 役 職	